

ふじた けいたろう えりか  
藤田 敬太郎・枝里香  
ご夫妻  
うましまCOLOR 代表

10  
-東部-



### | 応募のきっかけは?

**敬太郎さん:** 東京でテレビ制作の仕事に就いていましたが、2011年の東日本大震災をきっかけに移住を考えるようになりました。地に足を着けて、何が起こっても生きていける暮らしがしたくて、自給自足ができる、人間関係も築きやすい「田舎」に住もうと決めました。

**枝里香さん:** 私は、広島でグラフィックデザインをしていました。1日のほとんどをパソコンに向かって作業する過酷な労働に疲れ果て、東京のテーマパークに転職しました。仕事は楽しかったのですが、東京での結婚・出産は難しいと感じ、移住を決意しました。馬島を選んだ理由は、一目惚れです。

隊員時代:豆茶、特産品PR



島に来てみて、「私はここに住むんだ!」と強く思いました。

### | 着任前のイメージと違っている点はありましたか?

**二人:** ご高齢の方ばかりと聞いていろいろと力になりたいと思っていたが、何でも自分でできるパワフルな方ばかりで、都会育ちの自分達は、無知で、ひょっ子過ぎて力もなく、落胆しました。

「田舎=のんびりした生活」とイメージしていましたが、そうではなく、やることがたくさんあります。ですがやはり自然に囲まれた生活は素晴らしいですね。



隊員時代:ラジオ収録

### | 大変だったことはどんなことですか?

**二人:** 期待値が高すぎて、そのプレッシャーが辛かったです。日々の業務や行事への参加に加え、「何かでかいことをやり遂げろ」と言われる日々…。自分達がやりたいことで地域おこしをしていく方法で少し落ち着きました。ノーマルな業務をするだけでは、「何もしていない」と言われる辛さは、二人でないと乗り越えられませんでした。

### | 成長したな、と思うことは?

**二人:** 体力がついたこと、季節によって楽しめる動植物への知識が増えたこと、人の話を聞くのが上手になったこと、それから、やりたいことを実現させていく力が磨かれましたね。

### | 現在、そしてこれからについて

**二人:** 隊員時代に始めた、耕作放棄地を活用して収穫と野外クッキングの体験ができる「もぐモグ」というイベントや、馬島の自然を思いっきり楽しむ「うましまこどもキャンプ」は、現在も続けています。馬島がどんどん賑やかになってくれると嬉しいですね。

### | 協力隊を目指す人や後輩へひとと音

**二人:** 着任する地域やミッションによって、何をやるかは本当に様々だと思いますが、熱い心を持って、たまにはしっかり息抜きをして、「自分が選んで今この地域にいるんだ」ということを感じながら活動していってもらえたたらと思います。健闘を祈ります!

ふじた けいたろう えりか  
藤田 敬太郎さん・枝里香さん

#### | 協力隊として

- | 着任地 | 田布施町(馬島)
- | 活動期間 | 2013年4月～2016年3月
- | 活動内容 | 地域資源の発掘と特産品の開発など

#### | 現在の仕事 うましまCOLOR 代表

- | ホームページ | <http://umashima.web.fc2.com/>



2019年開催「もぐモグ」

### 藤田ご夫妻のあゆみ

#### 2013.4 ○ 協力隊着任

1年目

- ・自然薯栽培、地区のお祭り、小学校の行事等への参加、観光協会への所属(広く近くなんでもやってみる)
- ・田布施ボロシャツ、観光協会マーク、麻里府・馬島マップ、のんびらんどましまパンフレットの製作
- ・畑の開墾

#### 2014.5 ○ 島内で結婚式

2年目

- ・移住促進に向けて、ポスター、リーフレット、映像、のぼり、はっぴの作成
- ・採れたてを食べるイベント「もぐモグ」開催
- ・新たな特産品として「豆茶」の植え付け～商品化

3年目

- ・もぐモグの継続とスペシャルもぐモグ開催
- ・こどもキャンプの開催
- ・豆茶が東京進出

#### 2016.2 ○ 出産

#### 2016.3 ○ 協力隊卒業

- 馬島キャンプ場スタッフ、フリースクール、デザイン業、通訳案内士(中国語)等々、色々なことに取り組む

